

令和 8 年 8 月 2 5 日
教 育 総 務 課

令和 8 年第 2 回区議会定例会（代表・一般）における主な質疑について

1. 議会日程等

会期：令和 8 年 6 月 1 0 日（水）～ 1 9 日（金）

（1）代表質問 6 月 1 0 日（水）・ 1 1 日（木）

〔 質問者： 5 会派 5 名 〕

（2）一般質問 6 月 1 1 日（木）・ 1 2 日（金）

〔 質問者： 3 1 名 〕

2. 主な質問要旨等

別紙「令和 8 年第 2 回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

3. 世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における令和 8 年第 2 回区議会定例会の内容については、9 月上旬公開予定。

【別紙】

令和8年第2回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代 表>

※敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
児童生徒の多様な学びの機会確保	自 民	畠山 晋一	学校教育 部長	児童生徒数の動向や教育ニーズを踏まえ、多様な学びの機会を提供できる柔軟な制度設計を検討すべきだ。小中一貫校や学校選択制の導入に対する見解を示せ。	慎重な検討が必要であり効果や課題を十分見極める。
小学校への包括的性教育の導入	立憲無	中山 みずほ	学校教育 部長	区は区立中で包括的性教育を始めたが、小学生でもタブレット端末などで性に関する情報に触れる可能性は高い。国に先行し、小学校から包括的性教育を始めよ。	モデル校で発達段階に応じた授業を実施予定である。
中央図書館の運営方針への見解	共 産	川上 こういち	教育長	中央図書館は継続性と専門性を要する業務が多く、行政職員による知識の蓄積が不可欠だ。直営を基本とする方針に変更ないか。	管理運営方針に基づき、直営による運営を基本としていく。

<一 般>

※敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
教育の政治的中立性の確保	自 民	阿久津 皇	学校教育 部長	政治的に偏った教育により、生徒が主体的に考え判断することが妨げられないよう留意すべきだ。教育の政治的中立を保つ観点から、区は指導内容を把握しているのか。	学校訪問や学校長へのヒアリングなどで適宜確認している。
包括的性教育の制度化に向けて	生 ネ	おの みずき	学校教育 部長	包括的性教育を単発の講座や周知啓発にとどめず、授業時数を確保し、年齢や発達段階に応じて継続的・反復的に学べるものとして保障していく意思があるか。	系統的な学びの保障を見据え、適切な実施方法を検討する。
多様性を尊重する人権教育の推進	立憲無	みや かおり	学校教育 部長	SNSでは理想化された容姿や生活が発信されており、他者との比較に不安を抱える若者は少なくない。自己肯定感を高められるよう、人権教育を一層推進せよ。	子どもたちの自己肯定感を育む教育の充実に努めていく。

<一 般>

※敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
教室の断熱効果を生かす運用を	共 産	中里 光夫	教育政策・生涯学習部長	塚戸小での断熱改修による実証実験では、冷房効果の向上と同時に省エネに向けて窓や扉を閉めることの重要性が判明した。結果の評価と今後の対応を問う。	有効性が示されたため、適切な運用を学校に周知徹底する。
共同親権施行で変わる学校運営	参政党	岡川 大記	学校教育部長	共同親権制度施行を受け、学校も従来対応から転換すべきだ。別居親が子の成長を見守り、学校行事にも参加できるよう、法の趣旨に則った運用フローを整備せよ。	法改正を踏まえ、学校現場で円滑に対応できるよう整備する。
LGBTQ教育と外部講師活用	参政党	岡川 大記	学校教育部長	LGBTQ教育を含む人権教育では、外部講師の選定基準や教育的効果を明確にし、保護者への情報提供や授業公開、不安を持つ児童・生徒への配慮を求める。	保護者への事前説明などは重要であり、学校に指導していく。
まちづくりへの文化財の活用	立憲無	藤井 まな	教育政策・生涯学習部長	駒沢には旧林愛作邸や耕雲館など文化的価値の高い建築物が多く特に駒沢給水塔は所管する都と価値観を共有し貴重な文化財を地域の中に位置付ける努力をせよ。	庁内や地域の活動団体などと連携し風景づくりに取り組む。
区民本位で休館日設定の見直しを	虹	上川 あや	教育長	郷土資料館と代官屋敷は区の歴史文化の発信拠点として重要だが、祝休日は休館日だ。23区の多くの資料館同様、祝休日こそ開館すべき。教育長は決意を示せ。	所管部長に施設の在り方を具体的に検討するよう指示する。
学校標準服に係る現場指導の乖離	虹	上川 あや	学校教育部長	区は私の質疑に区立中の標準服は購入・着用ともに義務ではないと答弁するが、全校の校則を調べると、購入・着用が大前提だ。正しい指導をどう定着させるのか。	秋頃を目途に標準服の位置づけなどを整理し学校に明示する。
体験学習を探究型の学びへ進化	国都民	佐藤 美樹	教育総合センター長	予測困難な社会では探究的で多様な学びが重要だ。教育総合センターが取り組む体験型学習プログラムで得られた個別最適な学びのノウハウを体験学習に生かせ。	各事業で得た知見や手法を生かし多様な学びの場を創出する。
学校改築を機とした教育環境整備	自 民	くろだ あいこ	教育政策・生涯学習部長	渋谷区では学校改築を契機とし、新たな教育ニーズや視点を取り入れた施設整備を進めている。学校改築に際し、区は魅力ある学校づくりに取り組んでいるのか。	地域や学校の実情に応じた特色ある学校づくりを進めている。

<一 般>

※敬称略

項 目	会 派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
スポーツを通じたキャリア教育	世田谷	ひうち 優子	学校教育 部長	専門分野で経験を積んだ方から学ぶ機会は重要だ。他自治体の例に倣い、プロサッカーチームと連携協定を締結し、スポーツ選手によるキャリア教育を推進せよ。	プロスポーツチームとの協定の可能性を具体的に検討する。